



第574号

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南8条西11丁目

電話011(561)-1148

FAX 011(561)-1190

tenrikyo.hk@gmail.com

印刷

三浦印刷株式会社

# 立教184年 全教一斉にをいがけデー！

## 9月28日(火)～30日(木) 「ようぼくの実動日」

- ◆おさづけの取次 神名流し 天理教用語フリップを提示するにをいがけ
- ◆リーフレットを活用したにをいがけ (日頃から繋がりのある人に一言添えて配るようにならねば) ※対面する手渡しは配慮が必要
- ◆はがきや手紙を使ったにをいがけ (にをいがけ用リーフレットの同封も)
- ◆Web上の動画や音声を活用したにをいがけ (天理教ホームページ内の「暮らしの場」で教えに親しもう) には YouTube「天理の教えチャンネル」 ラジオ「天理教の時間」 朗読動画「神様からの宿題」など 未信仰の人でも分かりやすい内容のお話が多数配信されています

【天理教ホームページ「暮らしの場で教えに親しもう」

→ <https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/kurashinobade/>】

### 教理随想 四十

## 自分が出しただけ

木岡 昭

これはある先生から聞いた話である。

一昔前の事だがある偉い先人が、自分に仕えていた純真な青年に、ある時「庭にあるあの石を少し動かしてくれないか」と云った。青年はテコを使ったりして動かそうと懸命に努力をしたが重くて動かさなかった。それでも何とかしようとしていたら先人が「もう動かさなくてもいいよ」と云われ、更に「石は動かなかつたけれど君には力がついたらよ。あのね、この世の中の一切は自分が出しただけしか与わらないものだよ」と悟し教えられたという話であった。

私は、話の真偽のほどはともかくとして教訓になる一言話として受けとめた。

私達はこの世に生を受けて生きていく上で元からいろいろと

与えられている。それは頭脳とか体力とか器用さなど一人ひとり皆違うがそれらを活用して生きていくようになっていく。この素質というものは持って生まれた徳分の差があるのかも知れない。しかし素質がよくても生かせるよう努力しなければ価値はない。自分が努力をする、つまり自分の意志で力を出すのである。

その結果は、自分が努力した通りに現れない事もしばしばであらう。運、不運もある。しかし結果が思うように現れなくても、自分が努力して出したものは必ず自分の力として身につけているのである。これは例えばスポーツに精進している人の姿勢を見れば自明のことであらう。

ところがそれぞれが受ける喜び心は、努力少なくして結果を得るより、努力の多い人のほう

が多いのである。

つまり本当の喜び心が湧くのは人に与えられたものより、自分が出した努力の結果にあるのである。消える事のない喜び心は自分が出した結果にあるのである。消える事のない喜び心は自分が出しただけしか与わらない世の中ということである。

それは、私達の人生はどれだけ身の上の環境や、他人の力を頂いていても、自分自身の力を世のため人のために出していなければ真の喜び、幸せ心は得られないと教えられているのだと思う。これは反対に、生かされている条件が不利であっても力を出せば出しただけ必ず喜び心が身につくということである。

お道で力を出すとは、真理(天理)に照らして自分の真実の心を世のため人のために出すことである。真実出した心の種は必ず心の徳として自分に返ってくるのも天理である。

他人が蒔いた種は結果もその人のもの。蒔かぬ種はいつまでたっても生えない。

8月のおぢば



写真右・例年がない静かなおぢばの夏。夏休みを利用した家族連れが毎日三々五々親里を訪れる。ときおりユニホームを着た小団体の姿も。「夏休み子どもひのきしんセンター」が設置され、回廊ひのきしんに喜々として励んでいた。  
写真左・8月15日は10時より、3代真柱夫人・中山まさ様の20年祭が、中山大亮様祭主のもと厳かに執り行われた。

新会長さん紹介

(令和3年3月26日お運び)  
札幌白豊支部  
札美分教会(夕張)

奉告祭 5月22日



藤田 美重子 氏 72歳

(令和3年5月26日お運び)  
余市支部  
古平分教会(秦野)

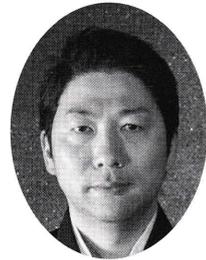
奉告祭 6月13日



平元 英二 氏 45歳

(令和3年6月26日お運び)  
南空知支部  
夕張大教会(本部)

奉告祭 9月4日



藤田 大和 氏 38歳

千恵広支部

久春内分教会(佐野原)

奉告祭 9月7日



米澤 稔樹 氏 74歳

天塩支部

名寄分教会(秦野)

奉告祭 9月12日



伊藤 一郎 氏 70歳

渡島支部

江差分教会(敷島)

奉告祭 10月3日



青木 善一 氏 36歳

訃報

(立教百八十四年・令和三)

- ・吉村美津子様 4月8日出直 (83歳)
- ・小能登呂分教会会長夫人(函館支部)
- ・杉本陽太郎様 6月2日出直 (88歳)
- ・旭本分教会長 (旭川支部)
- ・阿部美子様 6月6日出直 (98歳)
- ・札美分教会前々会長(札幌白豊支部)
- ・山本 至様 5月31日出直 (82歳)
- ・天光元分教会長 (小樽支部)
- ・佐伯紀子様 4月3日出直 (84歳)
- ・有珠分教会前会長夫人(室蘭支部)
- ・木林敏道様 6月21日出直 (87歳)
- ・岩内港分教会長 (倶知安支部)
- ・青木圭子様 7月11日出直 (83歳)
- ・江差分教会前々会長夫人(渡島支部)
- ・八重柏輝子様 8月4日出直 (88歳)
- ・幕別分教会前会長夫人(十勝支部)
- ・今井浩一様 8月5日出直 (64歳)
- ・北鷹分教会前会長 (旭川支部)
- ・高橋利恵子様 8月7日出直 (93歳)
- ・新旭川分教会前会長夫人(旭川支部)
- ・栗田孝子様 8月12日出直 (94歳)
- ・百里分教会長 (十勝支部)

けいじばん

◎法律に関する諸問題で、相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部まで(連絡下さい)。

◎毎月26日に本部月次祭選擇式を行なっています

北海道教務支庁日誌抄

- 5月31日 会計監査
- 6月1日 たすけ推進会議 (リモート)
- 2日 支部長会議 (〃)
- 26日 決算会議 (〃)
- 7月1日 本部月次祭選擇式
- 7月1日 主事会議(リモート)
- 7月1日 たすけ推進会議
- 2日 支部長会議 (〃)
- 3日 道の教職員
- 18日 会計部
- 26日 本部月次祭選擇式
- 8月1日 たすけ推進会議 (リモート)
- 2日 支部長会議 (〃)
- 7日 道の教職員

編集後記

8月24日、東川町で早くも稲刈りが始まって豊作の予想。畑はとうとうと6〜7月にかけての干ばつで、自教会の菜園は壊滅。しかし、次の準備をして、前に進まなくては。…北海道は昔二シシ漁で沸き立っていた。しかし、羽幌分初代のヒロ奥様は「鯨は開拓の先がけだよ。開拓が進むと、鯨はおらなくなるから、田畑を作っておけ」と仰有った。お互いの知恵、努力で次の一歩を、親は待ってられる。